

受賞報告した須崎さん(左)とJAつがるにしきたの金沢栄さん(右)



J A全中会長賞受賞

大豆の生産において、すぐれた技術により経営改善した功績により、全国農業協同組合中央会会長賞を受賞した農事組合法人嘉瀬生産組合の須崎悠悦組合長理事が、7月23日、副市長を訪問し、受賞の喜びを報告しました。

同法人は、嘉瀬地区でブロッコリーテーションという方法で転作大豆を生産しています。須崎組合長理事は、「これからも行政やJAの協力を得ながら大豆を作っていく」と話しました。

法務大臣から感謝状

多年にわたり五所川原地区更生保護女性会員として活躍している功績により、法務大臣から感謝状を受けた村元範子さんが、7月15日、副市長を訪問しました。

更生保護女性会は、地域に活動の基盤をもち、非行や犯罪に陥った人たちが、再び社会の一員として、立ち直るのを助けながら、広く社会の方々に更生保護の心を伝え、更生保護への理解と協力を得るための運動を展開しています。

感謝状を受けた村元さん(左)



作詞家・宮内たけしさん訪問

歌手・長山洋子さんが歌う「恋の津軽十三湖」を作詞した宮内たけしさんが、7月23日、副市長を訪問しました。

同曲は、新作立佞武多「津軽十三浦伝説・白髭水と夫婦梵鐘」の題材にもなった十三湖と長円寺の伝説が歌われています。

宮内さんは、「長山さんが紅白歌合戦等で同曲を歌うことで五所川原市のPRに貢献したい」と話しました。

副市長に思いを話す宮内さん



恋人の聖地モニュメント

昨年、県内初の「恋人の聖地」として認定された立佞武多広場に、「恋人の聖地モニュメント」が完成し、7月28日、除幕式が行われました。モニュメントは、真実の愛をテーマに「真実の口」をモチーフとして制作されています。

除幕式で三上副市長は、「恋人が集うシンボルとして活用してほしい」と挨拶しました。



除幕をした皆さん

交通事故を防ごう!市民総決起大会

7月21日～31日までの夏の交通安全県民運動の期間に先立ち、7月17日、プラザリユウで市民総決起大会が開かれました。

東北電力五所川原営業所の高谷宏慈さんが交通安全宣言を行ったほか、五所川原警察署の太田百合夫交通課長が講話で交通事故防止を呼びかけました。

日頃から、市民一人ひとりが交通事故防止を意識しましょう。



交通安全宣言をする東北電力の高谷さん